

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局；大代地区公民館 ☎ 364-8442

新年の御挨拶

大代地区コミュニティ推進協議会

会長 跡辺 三夫

新年おめでとうございます。

年明けと共に不景気脱却の胎動が聞こえ始めたという事でいくらかほっとしてきた様です。そして矢張りお正月を今年も皆様と共に楽しく過ごせるという事は、流石力ある日本だなど、つくづく考えさせられます。

昨年は各部長始めスタッフの方々の熱心な活躍で一応の成果を上げ得たと自賛して居ります。

今年もそれぞれの分野で努力を積み重ねてコミュニティ活動を伸長して行きたいと願って居ります。

区民の皆様の尚一層のご支援をお願い致します。

本年もどうぞよろしく

お願い申し上げます。

コミュニティ推進協議会

役員 一同

会長 跡辺 三夫

副会長 渡辺 多美子

広報部長 佐藤 甚六

副部長 渡辺 正平

環境美化部長 荒木 慶蔵

副部長 平山 いなよ

体育部長 熱海 五郎

副部長 菊田 茂

推進部長 内ヶ崎 勝夫

副部長 小野 菊郎

監事 小野 精子 佐藤 良一

御祝儀 お見舞いは

防災意識を高めて安全を守ろう

大代五区連合会

会長 高橋 傳 廣

明けましておめでとうございます。

ここに、平成十一年の輝かしい新年を迎え、皆様のご健康と益々のご繁栄を心からお祈り申し上げます。

大代五区連合会は、「明るく住み良い街づくり」を推進してまいりました

が、各団体のリーダーの方々を始め、多くの皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご活躍いただいた皆様に対し、心から敬意を表し感謝申し上げます。

さて、正月を迎えると古くからの習わしで、多くの方々は、我が家の幸運と安全を祈願されると思いますが、今年には災害に備えた対策も考えてみては如何でしょうか。

平成七年一月十七日の早朝に起きた「阪神・淡路大震災」、五千五百人を越える犠牲者、三十万人を越える人々が家を失うという、戦後最大の自然災害でした。あれから四年が経ち、そろそろ油断している人も少なくないと思

います。「災害は忘れた頃にやってくる」ということわざのように、いつどこで起こるかかわからないのが災害で

す。日本は、その地理的環境や気候風土から世界の中でも有数の災害大国といわれています。そして災害は、未然に防いだり、前もって察知することが

大変困難なものです。

昨年、アジアの各地で地震や大水が起り、多くの人が住宅を失い、農作物を流失し、また、多数の人命が奪われました。国内でも、梅雨の明け

ない不順な天候が続き、台風が相次いで上陸するなど、甚大な被害を被った地域も少なくありません。

突然襲って来る災害に対して、ただ手をこまねているのではなく、災害に対する備えがあつてこそ、被害を最小限に食い止めることができ、尊い命を守ることもできるのだと思います。

大代五区連合会は、防災意識の高揚を図るため、昨年十一月、各団体と共催で防災講演会を開催し、大勢の方々

に受講していただきました。これを契機として、防災意識を一層高めていた

だいたいと思います。

東北石油の火災事故から早くも二年が経過しました。この間、大代地区防災対策協議会は、機会をとらえて東北石油と安全対策について話し合いをして

しております。東北石油では事故のあと、製油機器の改良や勤務態勢の改善など、事故防止に万全を期して不断の努力を

されております。また、開かれた製油所を指して会社内に「地域交流室」を設置し、近隣の住民と交流を図るため、「製油所の見学会」「東石スポーツ大会」「ふれあいフイステイバル」

「懇談会」などを開催して、多くの人たちの意見や要望を取り入れ、安全対策の貴重な資とされているようです。

一方、非常時の連絡手段として「防

災広報装置」の建設を進めておりましたが、昨年の九月に完成しました。

設置場所は、東区の石ヶ森一号公園南区の橋本公園・北区の大代公園の三ヶ所です。多賀城市に寄贈の手続きを済ませ、既設の機器と合わせて五基を多賀城市で管理・運用することになっております。

大代の人口も年々増えて、昨年十一月末現在、五区で五、二八二人（一、六七八世帯）になり、自衛隊の管内生活者を合わせると多賀城市の約十分の一の人口にあたります。

この街にも、いつ災害が襲って来るかわかりませんが、日頃から災害に備えて、先ず自分と家族の安全を守りましょう。

大代五区連合会は、今年も「明るく住み良い街づくり」と共に、防災意識の高揚・啓発を推進して参りたいと思

いますので、一層のご協力とご支援をお願いいたします。

跡辺 文江

パリは雨モスクワは雪と報じらる

人は寄りそひ歩む夕を

本郷 貞子

時雨るれば又色副ふる東福寺の

師走の紅葉いまだ明るく

小倉紀美子

真冬日もスイッチ一つで温くもる部屋を

無き父母は知らずに逝きき

三千円を限度にお返し物はしないようにお互い気を配りましょう

心の通う豊かなまちづくりを

あすの多賀城を創る協議会

会長 渡辺 弘

明けましておめでとうございます。皆様方には、お健やかに希望に満ちた新年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

大代地区コミュニティ推進協議会は、市内唯一の実践団体として広報紙の発行、市民の親睦交流と健康づくりに、また地域の環境美化活動など、コミュニティ事業を推進していただき、心から感謝申し上げます。

さて、特定非営利活動促進法「NPO法」が平成十年十二月一日施行され、宮城県においてもNPO活動を支援する条例が制定されました。

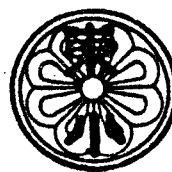
阪神淡路大震災で延べ百万人を超す災害救援ボランティアの活躍が新法制定のきっかけと言われますが、行政、企業とともに市民団体がそれぞれの分野で広範な活動を求められる時代を迎えました。

これを契機に、高齢化社会の福祉活動、豊かなまちづくりの推進に一層のご活躍をお願い申し上げます。

終わりに、皆様方のご繁栄とご多幸を、心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



多賀城東小学校



住所 多賀城市笠神5丁目8-1
☎ (362) 2621 FAX (364) 1220
校長 鈴木 實
児童数 674人 (21学級)
職員数 29人
創立 昭和36年4月
開校記念日 11月9日

三十八歳の東小

多賀城東小学校長 鈴木 實

師走に入り、校庭に桜や公孫樹の枯葉が舞う中、校木の「黒モッコク」が凛と天をさしています。

平成十年度多賀城東小学校は、創立三十八年目になりました。創建の時に植樹していただいた桜苗木は、大樹になり、花と緑と紅葉で美しさ、潤いや安らぎを与えてくれています。常緑樹のモッコクは、厳しさの中でたくましく成長することを、教えてくれています。この環境を整えていただけたいもの、偏に地域の方々のご協力とご支援によるものと深く感謝いたしております。

これまで、四千四百四十四名が巣立ちました。今年、六百七十四名の子供たちが学習に励んでいます。子供たちは運動会、学芸会、全校清掃、学年PTA行事など、保護者の皆さんをはじめ多数の地域の方々にご参加いただき、体験を通して成長しています。子供たちの成長と活躍の歩みは「学校だより」でお知らせしてきました。

書写、読書感想文、音楽、図画工作、スポーツなどでの入賞や表彰として記されています。

子供たちには「よく考え、思いやりのある、たくましい子供」になってほしいと願っています。それには、もつと色々な生活体験・自然体験・社会体験を積み重ねたいと考えています。人や自然とのかわり方やふれあい方を、体験を通して身に付けさせたいと思います。ご理解とご協力くださるようお願いいたしますとともに、「卯」年のご多幸をお祈りします。

東豊中学校



住所 多賀城市笠神5丁目4-1
☎ (362) 3416 FAX (362) 3417
校長 嶋田 晋
生徒数 368人 (11学級)
職員数 28人
創立 昭和62年4月
開校記念日 4月22日

目の輝く生徒のいる

東豊中学校

校長 嶋田 晋

家庭や地域の教育力は、「他人に迷惑をかけるな」でありました。戦後五十年の間、幾度か教育の内容が見なおされてきましたが、ここまで「心の荒廃」が叫ばれたことはなかったと思います。経済成長によって満たされたものは、心まで満たして

くれなかつたことになりました。いつのまにか自分さえよければ多少他人を犠牲にしても「まあいいか」になっている現在、教育の混迷はますます深くなるばかりで、一時期、学校教育へのパッシングはすさまじいものがありました。現在は、課題はあるものの学校内だけで問題解決できないことが改めて認識され、新聞やTVで報道されたように、二〇〇二年に向け、大きく学校教育が家庭・地域社会の教育を得て変わろうとしています。それは、「二十一世紀を展望した我が国の在り方」として、「生きる力」を育むことを重要視しています。

東豊中学校としても、二〇〇二年に向け、今までやってきた行事を生かしながら準備しているところがあります。やがて、教科の授業時数が少なくなり「総合的な学習の時間」(従来の教科の枠を取り払った授業)というのが設けられますが、その時まで、地域の皆様の力添えがますます必要としております。そして、今年度から生徒数は年々減少傾向にあります。生徒達のがんばりとご父兄のご協力で、運動面・文化面に昨年度に劣らないくらい好成績を維持しております。これからもよりよい方向を目指しながら一人でも多く目の輝く生徒のいる東豊中学校にしていきたいと考えております。

★「二代目花咲かじいさん11」は、紙面の都合により休載しました。(広報部)